



# 進路だより

第9号

令和6年12月23日発行

宮城県東松島高等学校 進路指導部

## 「これからできること」

教務部長

もうさんざん言われていることですが、大学や企業が受験生を落とす理由は、「欠席数が多い。」ということです。もちろん試験が解けないことも上位の理由です。企業からは「なんでこんなに休んでいるのですか？」とよく聞かれますが、先生方は何も答えることができません。

そこで、声を大きくして皆さんに伝えたいことは3つです。

1つ目 「欠席日数が多くて良いことは、一つもない。」

2つ目 「授業を受けないで良いことは、一つもない。」

3つ目 「基礎学力がなくて良いことは、一つもない。」

欠席の多い人、しかも成績が良くない人を好んで取ってくれる大学や企業はありません。だから、授業に出なくてははいけないのです。

大学や専門学校に行きたいなら、高卒求人就職したいなら、2024年に欠席日数が多かった人がこれからできることは、

「欠席日数を減らして、卒業の年には欠席日数を0にすること。」これしかない。結果的に欠席日数を0にできなくても、0にするために努力する気持ちが大切で、それを企業や行きたい学校にわかってもらうしかないのです。非常にシンプルなことです。

2024年は、記録的に欠席者数の多い年になったように思います。

来年はより実り多い年であることを願っています。



皆さんにとって『一人前の社会人』ってどんな人たちですか？

仕事や生活を自分でどうにかできている人？『じりつ』できている人？と考えた人もいるかもしれませんが。人と関わる上で『じりつ』が非常に重要になります。

じりつには2つ漢字があります。自らの足で立つ「自立」と自らの心を律する「自律」があります。私が皆さんに意識して欲しいじりつは、どちらか分かりますか？

社会で生きていくには、人と協力をしないと解決できないことが沢山あります。そんなときに『自律』です。自分の気持ちをコントロールできる力を身に付けて欲しいです。我慢をするのではなく、コントロールするのがポイントです。自分の中にあるイライラや落ち込み等のマイナス感情を態度や言動、行動に出すのではなく、自分イライラしてる・落ち込んでると気づいて自分をいたわる。自分で自分の機嫌を取れる人を目指してみてください。

### 「自分のペースで進む進路選択」

数学担当

高校生の時、進路が決まらず、不安なまま受験を迎えました。どの道が自分に合っているのか分からず、結局、第一志望の大学に合格できず浪人生活を選びました。浪人中は焦りやプレッシャーもありましたが、その時間を通じて、自分とじっくり向き合い、「進路はあくまで人生の手段の一つであり、目的ではない」ということに気づきました。

職業や進学先を選ぶことは、最終目標ではなく、自分がどんな生活を送りたいか、どのような価値観で生きたいかを考えるための一つ的手段にすぎません。焦ることなく、自分のペースで進んでいけば、必ず自分に合った道が見つかると思います。大事なことは、完璧な選択をすることではなく、少しずつ自分に合った道を探していくことです。気楽に、一歩ずつ進んでいきましょう。



### 《12月、1月の進路関係行事》

- 12月24日(火)
  - ・生徒集会
- 12月25日(水)～1月7日(火)
  - ・冬季休業
- 12月25日(水)
  - ・卒業後支援説明会
- 1月8日(水)
  - ・生徒集会
- 1月18日(土) 19日(日)
  - ・大学入学共通テスト
- 1月24日(金)
  - ・金銭教育プログラム(24年次I・II部)
  - ・金融経済教育(23年次I・II部、全年次III部)
  - ・租税教室(22年次、21年次I・II部)

#### 卒業後支援説明会について

12月25日(金)に卒業後支援説明会を開催します。卒業後の支援を考えているご家庭はぜひご参加ください。全年次対象となります。

ご希望の場合、進路指導部加藤もしくは中村までご連絡ください。

また、卒業後支援に限らず、進路のことについてお悩みのお場合はお気軽に進路指導部にご連絡ください。生徒のみなさんも、ぜひ気軽に進路室に遊びに来てくださいね。